

**FUJITSU Software**  
**ServerView Infrastructure Manager V2.1**  
**MIB ファイルのインポートに関する注意**

2017 年 7 月  
富士通株式会社

ServerView Infrastructure Manager V2.1(以下、“ISM2.1”と略す)は外部 MIB をインポートできます。本書では MIB のインポートに関する注意事項について説明します。

本書に記載の詳細や略語については、下記のマニュアルを参照してください。

- FUJITSU Software ServerView Infrastructure Manager V2.1 ユーザーズマニュアル
- FUJITSU Software ServerView Infrastructure Manager V2.1 用語集

## 1. MIB の記述形式について

MIB のトラップ定義に特定形式の注釈を記述することにより重要度等を取り扱うことが可能ですが、内容によっては定義どおりに処理されない場合があります。ここではインポートする MIB の記述形式について説明します。

MIB のトラップ定義 (TRAP-TYPE/NOTIFICATION-TYPE) の注釈の形式は、Novell NMS で提唱の形式に準じています。

例 :

```
sniScVoltageTooHigh TRAP-TYPE
ENTERPRISE sniServerMgmt
VARIABLES {
trapServerName,
trapTime,
trapCabinetNumber,
trapObjectNumber,
trapString
}
DESCRIPTION
    "Power supply voltage is too high."
--#TYPE      "Voltage too high"
--#SUMMARY   "Power supply voltage %d (%s) in cabinet %d at server %s is too high."
--#SEVERITY   CRITICAL
 ::= 652
```

■ コメントフィールドの記述

--#TYPE	トラップのショートネーム。この名前には、最大 <b>40</b> 文字を使用できます。ISM 上ではトラップメッセージの一部として使用します。
--#SUMMARY	プレースホルダを含むトラップの説明、およびトラップで渡される実際のパラメータの書式情報。ISM 上ではトラップメッセージの一部として使用します。
--#ARGUMENTS	<b>SUMMARY</b> 文字列に代入するパラメータのリスト。パラメータは、リストに表示された順序で代入されます。リストの各要素は、 <b>VARIABLES</b> 句のパラメータのインデックス(ゼロベース)です。
--#SEVERITY	トラップに割り当てられるデフォルトの重要度。次のいずれかになります。 情報 (INFORMATIONAL) 軽度 (MINOR) 重度 (MAJOR) 危険 (CRITICAL)

[注意]

- --#TYPE の記載がない場合、オブジェクト名が代用されます。
- --#SUMMARY の記載がない場合、DESCRIPTION の内容が代用されます。
- --#SEVERITY の記載がない場合、あるいは INFORMATIONAL/MINOR/MAJOR/CRITICAL のいずれにも該当しない重要度が定義されている場合、トラップの重要度は INFORMATIONAL として扱われます。

## 2. Unknown トラップを受信した場合の対処

トラップを受信した場合、対応する MIB が登録されていないと重要度が Unknown となりメッセージが正しく表示されません。Unknown トラップを受信した場合最新の MIB を取得し更新してください。更新後も Unknown トラップを受信する場合、対象の装置に異常がないか確認してください。

以上